

# 境小新聞

## 学校概要



【学校名】 境港市立境小学校  
 【所在地】 境港市湊町27番地  
 【校長名】 湯尾 毅  
 【児童数】 275人

【学校教育目標】 思い(愛)学び(合)支え(会)の心にあふれた子どもの育成  
 【めざす子ども像】  
 「みる(こ)きく(こ)した(え)る(こ)」ができる子ども  
 「2022年度児童会スローガン」  
 「本気で挑戦 笑顔で協力 境小」

沿革	
1872	明治5年3月 境港郷学校開校
1873	明治6年6月 公立境小学校創立
1905	明治38年4月 現在地(湊町)に新築移転
1947	昭和22年4月 境小学校と改称
1962	(昭和37)年7月 学校プール竣工
1999	(平成11)年10月 県西部地震により校門等倒壊
2022	(令和4)年11月 創立150周年記念式典



## 楽しかった野外炊事

大山青年の家にある野外炊事場で昨年10月14日、境小の5年生53人が班ごとに分かれてジャンバラヤ作り挑戦した。

班ごとに食材を切るチームとかまど作り・まき割りチームに分かれて作業。ちようどいい石を探したり、葉っぱなどの材料を集めたりするなどをした。風が強かったり、マッチを使ったこともあり、かまどになかなか火がつかない火が付き、まきをを入れる人

## 苦勞してジャンバラヤ作り

と料理をする人に分かれてジャンバラヤ作りを開始。丁寧に食材を切ったり、皿に食材を盛り付けたりして、出来上がった班から順番に食べた。自分たちで苦勞して作ったジャンバラヤは、とてもおいしく感じた。青年の家の人が私たちのためにフルソポンを作ってくれ、みんなでおいしく味わった。一緒に食べた先生たちも喜んでくれたので、頑張ったかいがあったと感じられる野外炊事になった。



火おこしに苦戦する児童たち

## 学習発表会

5年生は学習発表会で英語劇を行った。昨年10月28日から11月11日までの12日間、本番で披露するため、学校のいろいろな場所で練習を頑張った。

最初は英語が分からず不安だったが、アリーシャ先生のアプリを使ってせりふを練習した。準備は少しでもリアルにするために材料を決めて作った。場面ごとに分かれて少しずつ通して練習し、声の大きさや動きを確認したが、声の大きさや舞台袖での過ごし方が悪かった。



音楽室で場面ごとに通って練習する児童

## みんなで英語劇に挑戦

身になって声が大きくなり、舞台袖での過ごし方も良くなった。道具・効果音・照明もつけて通して練習してみると、いつ舞台に出るかが分からなくなるなど課題がたてられん見つけた。

場面や役ごとに集まり話し合った後、もう一度通して練習すると前回より少し良くなった。それから何度か通して練習し、発表会を迎えた。発表会を終え、また課題を見つけた。本番までの間、場面ごとに分かれて練習し、本番を迎えた。本番は全員の力を出し切り、大成功した。

## 調理実習

境小5年竹組の26人は昨年6月17日、家庭科室で「ゆでる」の調理実習を行った。調理実習は六つの班に分かれて実施。ジャガイモとホウレンソウをゆでた。ジャガイモをゆでて、バターとコショウをかけて「じゃがバター」にして食べた。ホウレンソウはゆでて、しょうゆとかつお節をかけて「ホウレンソウのおひたし」にして食べた。みんなおいしく食べた。

調理実習を実際に行う前に、ゆでる時間や何分ゆでるとどんな色になるのかななどを

## 協力して「ゆで方」学ぶ



協力してホウレンソウをゆでる児童

教科書やノートで確認して計画を立てた。使用する器具や材料を準備するときも、誰が何を取ってくるかなどを話し合っただけでスムーズにできていた。みんな楽しそうに作っていた。

## 遠足



第2公園に向かう2年生と5年生

## ちがいを豊かに

## 2年生と交流深める

5年生は昨年4月26日、「ちがいを豊かに」の学習をテーマに遠足の計画を立てた。

初めに、色別班で2年生と一緒に安全に楽しく遊ぶことを計画。次に2年生と安全に楽しく行ける道を考えてたほか、遠足前の仲よし交流で2年生と仲良くなるために遊んで交流を深め、少しずつ打ち解けていった。

さらに遠足当日の目的地に向かう道中で、2年生と話すことや聞いてみたいことなども考えた。このように、5年生は2年生のために必要な準備を着々と進めていった。

5月2日の遠足当日は、第2公園で5年生も2年生もとても楽しい雰囲気の中で遊ぶことができて、遠足は大成功させることができた。

## 運動会



運命の5年生リレー。スタートの瞬間

## 全力で走り、全力で楽しむ

境小のグラウンドで昨年9月15日、秋季大運動会が行われた。今年もコロナ禍ということもあり、観覧する保護者が少なかったり、参加できない児童もいたりしたが、チームで協力したり、アドバイスをし合ったりして、参加できた児童は参加できない児童の気持ちを背負って精いっぱい頑張った。

リレー練習では、チームの中で遅れているところがあれば、少しでも追い付き速く走ることができるように作戦を立てるなど工夫した。5年生はスタートの姿勢やバトンパスを意識し、リレーに取り組んだ。

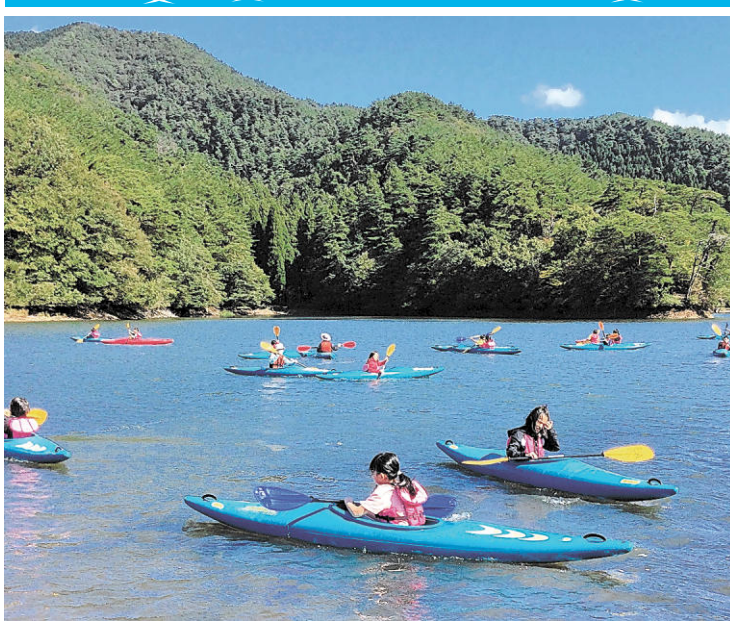
本番では1位青組、2位黄組、3位白組、4位赤組という結果になったが、みんなで練習した成果を出すことができた。全学年が全力で走ることで、全力で楽しむことができた。「1人はみんなのために みんなは1人のために」。頑張ったからとても楽しい運動会にすることができた。

## 宿泊体験学習

## 協力続け、団結力UP

境小5年生53人は昨年10月13、14両日、「自立・向上 友愛・奉仕」の力を高まると「一緒に頑張ろう」などの宿泊体験学習を行った。

インシアチブゲームで力を活動した。パイプラインなどで「自分のことだけでなく、間に追われながら友達と周りの人のことまで気を配りながら行動できるように」と語った。宿泊体験学習を通して、団結する力が高まった。



気持ち良くカヌーをこぐ児童たち

## 自立・向上 友愛・奉仕

## 学習発表会

## 徐々に進化 ~The Rolling Riceball~

昨年11月21日、境小の体育館で5年生の児童が英語劇「The Rolling Riceball」を披露した。本番当日に披露した劇は完璧だったが、そこまではたぐさんの苦勞や困難があった。

初めは、アリーシャ先生の発音を聞いたり、同じ場面の人たちが何回も練習したりした。通し練習では、全体的にうまくいかず、何度も止まってしまった。おじいさん役の児童は「諦めそうになったけど、先生のアドバ

イスを基にもう一度せりふや効果音、ナレーターのリレーを練習した」と振り返った。

本番では、練習したことと生かして、スムーズに発表された。5年梅組の八軒暖人君は「練習と本番の雰囲気は違っていたけど、せりふ練習をすることでミスをするようなことが減った」と話した。

学習発表会を通して、一人一人が全力で取り組むことの大切さを知り、努力を続ける力を伸ばすことができた。

## 調理実習

境小5年梅組は昨年12月20日、本年度2回目の調理実習を行った。

作ったのは「ご飯」と「みそ汁」。ご飯はガラス鍋で様子を見ながらじっくりと炊いた。同時にみそ汁の具を切ったり、火加減を見ながらだしを取ったりした。

梅組の女子児童は「1学期に行ったゆで野菜の時より上手にできて、また作りたかった」と語った。一人一人が自分のできることを考え、丁寧に取り組んだ調理実習だった。



丁寧に具材を切る調理実習

## 5年竹組が作った新聞です

## 5年梅組が作った新聞です

## 心を一つに、本番で堂々と



指先まで気持ちを込めた組体操

昨年9月15日、境小グラウンドで5、6年生が組み体操を行った。2学期の始めから運動会本番までの間にたくさん練習してきた。

運動会練習当初の体育館練習では、肩倒立などの技がそろわなかった。練習を重ねていくうちに技のこつを覚え、できるようになっていった。技の順番も覚えていくと、グラウンドでの練習が始まった。

体育館とは違ってグラウンドは広いので、移動や技のバランスを取ることが難しく、不安に思う児童もいた。しかし「頑張ろう」と声を掛け合い、練習を重ねていくうちに、技がそろうようになった。5年梅組の男子児童は「肩倒立がそろうようになってうれしかった」と語った。

たくさん練習を行った結果が本番の堂々とした児童の姿に表れていた。常に全員が全力で取り組むことで、達成感を味わえることが分かった行事となった。

## 記念式典で歴史振り返る



実行委員の方から校旗を受け取る校長

昨年11月18日、境小創立150周年を祝い、境港市上道町の境港市民交流センター(愛称・みなとテラス)で記念式典が行われた。

式典では、境小の歴史を振り返る特別な動画が流された。また、境小の6年生が児童たちにインタビューをする場面があった。「給食で好きなメニューは何ですか」「好きな教科は何ですか」などの質問に、各学年の代表者が答えた。

その後、式典の実行委員の方から湯尾毅校長に新しい校旗が手渡された。児童には「境小の校歌が入ったせんべい」「『150』の人文字写真が入った時計」が記念品として配られ、5年生の児童は「境小ならではの物をもらえてうれしい」と語った。